

カーボンハーフスタイル推進資料 指導資料

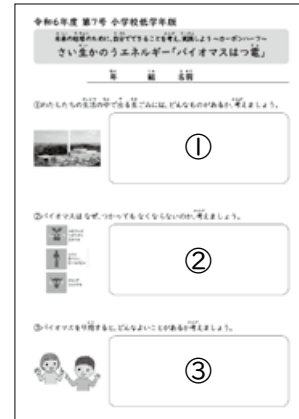
カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働き掛ける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

カーボンハーフスタイル推進資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう～カーボンハーフ～
再生可能エネルギー「バイオマス発電」

①表題



②ねらい

- ・バイオマスについて知る。
- ・バイオマス発電は、地球環境に優しい再生可能エネルギーによる発電の一つであることを理解する。
- ・バイオマスには、発電以外の用途もあることを知る。
- ・化石燃料等と異なり、バイオマス発電の原料はなくならないことを理解する。

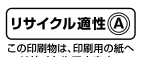
③本教材で扱う
主な内容

バイオマス、再生可能エネルギーの一つであるバイオマス発電、発電以外のバイオマスの用途、バイオマス発電の利点

④主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
○揭示用教材①を見て、バイオマスについて知る。	○バイオマスについて説明する。	◆揭示用教材①
○揭示用教材②を見て、バイオマス発電は、地球環境に優しい再生可能エネルギーによる発電の一つであることを知る。	○バイオマス発電は、地球環境に優しい再生可能エネルギーであることを説明する。	◆揭示用教材②
○私たちの生活の中で出る生ごみには、どんなものがあるか、考える。	○バイオマス発電は、ごみとして廃棄していたものを利用するため、環境に優しいエネルギーであることを説明する。	◆ワークシート①
○揭示用教材③を見て、バイオマスの発電以外の用途を知る。	○バイオマスの発電以外の用途について説明する。	◆揭示用教材③ ◆ワークシート②
○バイオマス発電の原料は、なぜなくならないかを考え、発表する。	○イラストを拡大して提示し、バイオマス発電の原料はなくならないということを説明する。	◆揭示用教材④ ◆ワークシート③
○揭示用教材④を見て、バイオマスを利用することのよい点について考え、話し合う。	○バイオマスを利用することのよい点について考えるよう、声掛けをする。	■資源エネルギー庁 自然のチカラ 再生可能エネルギー ■環境局 「わが家の環境局長」事業 ■東京都教育庁 カーボンハーフスタイルチャレンジ

※環境教育指導資料は、令和2年3月に各学校に配布した冊子です。
※東京都教育委員会ホームページで、カーボンハーフスタイル推進資料1号から7号の教材、指導資料、ワークシート、イラストや図表等を公開しています。



令和6年度 第7号 小学校低学年版

みらい ちきゅう じぶん かんが じっせん
未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ~カーボンハーフ~
せい
さい生かのうエネルギー「バイオマスはつ電」

ねん
年

くみ
組

なまえ
名前

①わたしたちの生活の中で出る生ごみには、どんなものがあるか、考えましょう。



②バイオマスはなぜ、つかってもなくならないのか、考えましょう。



そだてれば
つぎつぎに
生まれる



ものを
食べると、
生ごみが出る



かならず
ふんをする

③バイオマスをり用すると、どんなよいことがあるか考えましょう。

